

# 学びの灯

ようこそ、広島都市学園大学 子ども教育学部へ

子ども教育学部には、様々な研究をされている先生方がいらっしゃいます。

このページでは、毎月、一人一人の先生方の思いや考え方などを記していただき、読んだ皆さんの心や頭に「学びの灯」をともします。

一つ一つの「灯」は、いくつか集まると、きっと大きな明るさとなり、皆さんの未来を明るく照らすものとなるでしょう。

また、ある「灯」は皆さんの拠り所となって、どんなときであっても、希望と温かさを保ち続けてくれるでしょう。

さらに、皆さんが「新しい灯」をともし、多くの人々の未来を明るく照らすことに役立つことでしょう。

さあ、今月は、どんな灯でしょうか？



地域の子どもたちの学びの場、朝食の提供等を落合東地区社協が実施し、地域全体で、子どもたちの生きる力を応援～地域を知り、学び、地域社会の発展に寄与!

子ども教育学部 保育・幼児教育等担当教員 畠山 京子

地域において一人暮らし高齢者、孤独死、虐待、ひきこもり等の様々な問題が生じています。自主団体の広島市安佐北区落合東地区社協は、郊外の丘陵地の住宅団地で、開発後40余年が経過し、高齢化率が上昇し、高齢ひとり暮らし世帯と孤独死が増加しています。唯一のスーパーが撤退。その空き店舗に「落合東福祉センター」を開設。「スーパーが撤退して買物に困る」という地域の困った（要望）から「朝市」を週2回開始し、困り事への対応を次々と行い、地域みんなの生活向上、福祉増進等を図っています。

高齢者等の支援と共に、独自に地域の子どもたちを対象とした「金平学習塾」「朝ごはん会」、年2回の小学校での料理教室、本に親しむ機会をと2,000冊の図書を積載した移動図書館「ともはと号」の巡回（第三金曜日）、子育て支援サロン活動等を展開しています。「金平学習塾」は毎週土曜日に元教員と、広島市内の教師志望の学生ボランティア団体メンバーが講師として無料で実施して3年目になります。「子どもたちと年齢が近いので、思いを受け止めて、持てるちからを引きだし、学びにつなげている」「学生が責任をもって行えるので、教師になった時の具体的ノウハウが身につく」と、訪問時にボランティアのやりがいを話してくれました。

「落合東福祉センター」は、更に家庭事情で朝食を抜きがちな子どもたちに地区社協ボランティアが水曜日の7時から8時間まで朝食を提供。又人と人を結ぶ場としてのコミュニティカフェ・なかよしカフェ「ジルバート」が平成26年9月にオープン。地域の力で子どもたちの生きる力を応援しています。

本年7月4日の7周年記念式典では、地域の人々、障がいのある人々、こどもたちがつどい、保育園児達は「ちいさなヒーロー」をリズムにあわせて踊り、「勇気100%」を歌い約100名で祝いました。落合東地区社協では、地域で、地域のために、地域ボランティアの皆さんが活動を担い、地域の子どもたちから高齢の方等、すべての地域の方々を対象として取り組み、社協のすべての活動のとりまとめを行う立石義敬会長は、「まず一歩踏み出す」「誠心誠意」「不備なところは補っていく」と語られ、地域の人々の相談、見守り、生活支援、子育て支援等を一体的に展開して住民の絆を深め、地域の「安心」「くらしの充実」等を図っています。

私自身、「地域でのつながり」をめざし、「真亀さくらクラブ」（いきいきサロン）を地元ボランティアの皆さんと取り組み、3年目になります。落合東地区と同様に、団地内のスーパーが撤退し、高齢化への対応と共に、少子化による幼稚園の廃園、子ども会の活動休止の中で、サロンへの子どもたちの参加、地域住民と保育園児との「七夕まつり」等の世代間交流等を進めています。先駆的取組みを進める落合東地区社協にサロンメンバーと共に、見学研修に伺い、交流を図っています。広島都市学園大学の位置する宇品は、発展するベイエリアの地で、大型ショッピングセンターで賑わい、高層マンションが林立し、学区の小学校は、広島市内で一番の大規模校(43学級1,267人)です。個々の地域実態により、地域のくらし、こども達の状況、課題等も異なります。

本学は「地域社会及び国際社会の発展に寄与すること」を目的として掲げており、大学で学ぶことと共に、学習・保育ボランティア等で地域へ。日々、子どもたちから高齢者等、一人ひとりが暮らす地域を知ること、こども達に寄り添い、地域の方々とつながり、共に歩むことにより、子どもたち等から、地域から学ぶことが多々で、地域社会の発展にも寄与。行う楽しみ、わかる楽しみ、この地域での学びが、大学での学びを更に深めていくこととなるかと。新たな一歩を拓き、充実した学生生活を！ 応援しています。